

とちぎ Prefectural Newsletter of Tochigi

県民だより

VOL.203

7

2008 月号

編集・発行 栃木県広報課 平成20年7月15日発行

- 目次 CONTENTS
- 2面 長寿医療制度(後期高齢者医療制度)
 - 3面 県からのお知らせ
 - 4面 県政トピックス・知事コラム・文化情報 ほか

〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>



通常の3倍の量のトマト収穫を目標に研究が続けられています。(株)誠和

新たなネットワークで とちぎ野菜の魅力アップ

全国の野菜生産が大きく減少するなか、栃木県の出荷額は全国一の伸びを示しています。今後、農業・商工業・研究機関などが協力して、とちぎの野菜に新たな価値を加え、さらに魅力的なものにしていきます。

野菜づくりの新しい挑戦

栃木県は、収穫量日本一のいちごをはじめ、にら、トマト、なすなど多くの野菜を生産しています。しかし、消費者ニーズの多様化、産地間競争の拡大、原油価格の高騰など多くの課題が出てきています。

こうした状況のなか、県では、県産農産物を核とした付加価値の高い商品開発などを目的に、農業や商工業、研究機関等が連携する仕組み(食と農のクラスター)づくりをすすめていくことにしました。

栃木県は、東京圏という大消費地に近いこと、自然災害が少ないこと、製造業の集積が高いものづくり県であることなどから、新しい商品やサービスを開発するには、最適といえます。今回は、その新しい取り組みを紹介します。

*クラスターとは?
かたまり、群れ、集団等の意味

捨てるのはもったいない

野菜を生産する際には、農家の方たちがどんなに努力しても、形が悪かったり、

傷がついたりなど商品としては売れないもの、いわゆる「規格外品」ができてしまいます。

JAうつのみやでは、年間で、トマトは約百二十トン、アスパラガスは約十トンの規格外品が発生しますが、これまでは、畜産農家などに引き取られ、一部が家畜の飼料として利用されるだけでした。

そこで、JAうつのみやでは企業と共同して、アスパラガスを使ったラーメンや和紙、



アスパラガスを利用した和紙「名刺」などに使えます」とJAうつのみやの高橋さん

園芸課の高橋さんは、「ちよっと形が悪いだけで味には何の問題もありません。農家の気持ちを考えても捨てるのはもったいないので、規

格外トマトもおいしいパスタに変身



食と農の新プロジェクト形成支援事業 ～独創的な取り組みを応援します!～

●農業者と企業などが連携して行う、県の農産物を活用した新商品の開発や新しい生産方法の研究などの取り組みを募集しています

●応募資格 2名以上の農業者または農業団体等と企業・大学等により構成される共同研究組織

●支援内容 調査分析、研究開発などの必要経費を2年以内の期間補助します(補助率1/2以内で1年あたり300万円まで)

●応募締切 7/25(金)

●応募方法 指定の応募用紙(県生産振興課・各農業振興事務所配布または県のホームページから入手)を各農業振興事務所へ提出

※詳しくは県ホームページで検索クリック!

食と農の新プロジェクト形成支援

とちぎ野菜のネットワークづくりを

栃木県野菜産業クラスター構想懇談会委員の茅野甚治郎さんにお話を伺いました

今回の取り組みは、野菜の生産者や企業、大学などの研究機関などが、お互いに連携して付加価値の高い商品などを生み出していくためのネットワークを確立しようというものです。

栃木県は、米や野菜、酪農といった農業と製造業、観光など各種商工業がバランスよく発達しています。また、大消費地である東京圏にも近く、高速道路などのネットワークも充実していることから、この取り組みの基盤は十分に整っているといえます。

今後は、これらの関係者が知恵を出し合いながら、さまざまな連携を模索し、競争力の高い野菜の生産や商品化をすすめていきます。さらに、観光地のホテルやレストランなどで地元安全・安心な野菜を使った料理の提供などにつなげていくことが大切です。

幸い、栃木県には多くのいい素材があります。まずは、地元の野菜を地元でおいしく食べてもらい、多くの県民の皆さんがとちぎ野菜の応援団になり、それぞれの地域が元気になってくれるとうれしいですね。



宇都宮大学 茅野教授

農業もデジタル化



JAうつのみや、ラーメン店、製めん店が共同で規格外トマトを使ったラーメンを試作中/宇都宮白楊高校食品科学科の実習風景

従来の野菜作りは、水や温度の管理、肥料の分量などは農家の皆さんの経験や勘などに頼って行われてきました。このため、同じ農家でも、収穫量は年によって大きな変動があります。

(株)誠和では、県内の農業者と共同で、トマトやいちごのハウス栽培に最適な環境を自動的に作りだすシステムの研究をすすめています。これは、過去の気象データなどから、温度、湿度、水や



ビニールハウスの内と外で温度や湿度などを観測して、トマトに最適な環境をつくり出す

食と農のクラスターを推進

県では、企業や各種団体と連携した交流会の開催、共同開発グループへの専門家派遣、独創的なプロジェクトに対する助成金などにより、野菜を中心とした「とちぎ食と農のクラスター」の育成を推進していきます。

【問合せ】県生産振興課 028-623-2333

長寿医療制度（後期高齢者医療制度）は 高齢者の医療費をみんなであう仕組みです

今年四月から、七十五歳以上の高齢者の方の医療制度は、従来の「老人保健制度」から「長寿医療制度（後期高齢者医療制度）」に変わりました。これは、少子高齢化がすすむなか、高齢者の医療費を国民全体で支えていくという仕組みです。高齢者の生活にあわせた医療を提供していくことを目指しています。

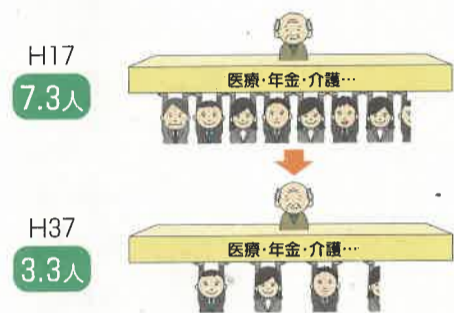
増え続ける 高齢者人口と医療費

現在、七十五歳以上の高齢者の人口は全国で約千三百万人ですが、平成三十七年には二千万人を超えるものと推計されています。また、これに伴い、老人医療費も二十年后には、現在の二倍以上の二十五兆円に達する

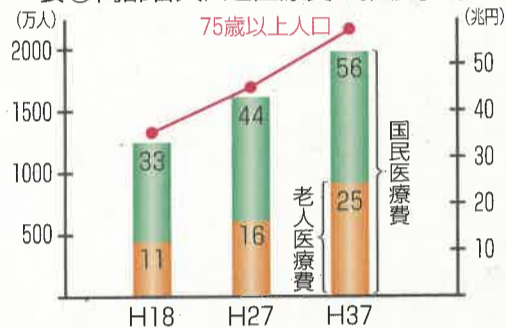


と予測されています。（表①）
②（高齢者一人あたりの医療費の全国平均は、年間八十二万円で、七十五歳未満の世代の四・七倍です。こうしたことから、国民皆保険制度（※欄外参照）を維持しながら、高齢者の医療費を国民みんなで支えていくこと、新たに「長寿医療制度」です。

表② 75歳以上の方を何人で支えるの？



表① 高齢者人口と医療費の推移予測



表③ 長寿医療制度での医療費の負担割合

医療機関窓口での自己負担	医療給付費
(1割) 一般の方 (3割) 現役並み所得者 (保険証に記載)	税金(5割) [国:県:市町= 4:1:1] 保険料(1割) (被保険者の負担) 現役世代からの支援金(4割) (国保・被用者保険)

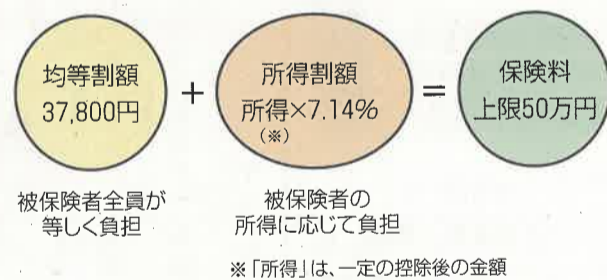


高齢者の料理教室の一コマ。健康に配慮した減塩料理を学んでいます

栃木県の保険料は？

長寿医療制度の保険料は、均等割と所得割の組み合わせ（表④）で個人ごとに算出し、原則として年金からの引き落としで納めていただきます。この仕組みは全国同じですが、金額は各県の高齢者の年間医療費をふまえ、県ごとに定められています。栃木県の保険料の平均

表④ 保険料の決め方



金額は五万八千八百円と、全国平均の七万二千円より低い金額です。これは、栃木県の高齢者一人あたりの医療費が、全国平均より少ないことによるものです。このように、県民の皆さんが健康に暮らし、医療費が少なくなることで、保険料を抑えることができます。

保険料などの質問にお答えしています

長寿医療制度の運営は、栃木県後期高齢者医療広域連合（以下、「広域連合」）が市や町と共同で行っています。広域連合とは、県内の市や町が参加し設立した団体。広域連合では、保険料の決定、医療を受けた時の給付などを、市や町では申請の受付や保険料の徴収などを行っています。広域連合の小野さんにお話を伺いました。



広域連合 小野事務局長



那須町で実施した民生委員向けの制度説明会のようす

また、「これからは高齢者が安心して医療を受けられるよう、県民の皆さんには、この制度が生まれた背景や必要性を、ぜひご理解いただきます。また、「これからは高齢者が安心して医療を受けられるよう、県民の皆さんには、この制度が生まれた背景や必要性を、ぜひご理解いただきます。また、「これからは高齢者が安心して医療を受けられるよう、県民の皆さんには、この制度が生まれた背景や必要性を、ぜひご理解いただきます。」

「制度が始まった四月には、たくさんのお問い合わせがありました。その多くが保険料に関するもので、「自分の保険料はいくらになるのか」「これまで加入していた保険と比べて高くなるのか、安くなるのか」といった質問が多かったです。また、低所得者やサラリーマンの被扶養者の方々への保険料の軽減などについても、かなりの問い合わせがありました」と話します。

高齢者の皆さんが医療機関にかかった時の自己負担額は、今までと同じ医療費の1割（現役並みの所得者は3割）です。このほか、入院したときの食事療養費や高額医療費などの支給についても、今までと同様です。七十五歳以上と七十四歳以下の方が受けられる医療に違いはありません。それに加えて、この制度では、高齢者の方々が住み慣れた場所で自分らしい生活を送ることができるよう、訪問看護サービスの充実などをすすめていきます。

「長寿医療制度について思うこと」

老人クラブは地域の高齢者の集りですが、長寿医療制度もよく話題になります。一番多い不満は「貴重な年金から天引き」されること。今まではお子さんが保険料を納めているご家庭が多く、高齢者自身が払っているという意識が少なかったようです。逆に評判が良いのは、保険証が1人1枚になったこと。国保では家族で1枚だったので、大変便利になりました。これは身分証明書の代わりにもなるので、持ち歩いている方も多いようです。

私の住む那須烏山市では、総合病院の医師不足がすすんでおり、何かあったら宇都宮市などの大きな病院で診てもらうこととなります。ですから、保険料が少々高くても地域医療を充実して欲しいというのが私たちの願いです。私の周りには、「後期高齢者」という名称にこだわっている人はいません。むしろ、若い人たちに迷惑をかけたくないと思っている高齢者が多いことを、知って欲しいと思います。



栃木県老人クラブ連合会 副会長 蓮澤セイ子さん

※国民皆保険制度…誰もが安心して医療を受けられるよう、全ての人が医療保険に加入すること

【問合せ】 県国保医療課 栃木県後期高齢者医療広域連合 02028・623・3137 02028・627・6805

募集・試験

栃木県保健福祉協議会の委員募集

●県民の健康づくりや医療確保を進めるためのご意見をいただく委員を募集します
●定員 2名以内 ●応募資格 20歳以上70歳未満の県内在住・通勤・通学の方 ●応募方法 身上書と自己PR文(保健医療福祉をテーマにしたもので800字程度)を7/25(金)までに郵送などで※8月下旬に面接を実施します ●県保健福祉課 ☎028-623-3103

とちぎ元気フォーラムin那珂川

●県民の皆さんと知事との対話集会を開催します ●8/23(土)午後1時30分～(約2時間)
●那珂川町小川総合福祉センター ●応募資格 県内に在住・通勤・通学の方 ●定員 150名 ●応募方法 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・職業(学校名)・託児希望の有無を、電話・はがき・FAXなどで ●応募締切 8/11(月)
●あて先・問合せ 〒320-8501 県広報課 ☎028-623-2158 ☎028-623-2160
※8/2(土)開催予定の「とちぎ元気フォーラムin野木」は中止となりました

「ジュニア知事さん」作品募集

●もし、知事になったらどんなことをしてみたいですか。夢や希望を400字づつ原稿用紙1枚にまとめてください ●対象 小学4～6年生 ●応募方法 原稿用紙の余白に題名、裏面に氏名・学校名・学年・性別・住所・電話番号を記入し郵送で ●応募締切 9/8(月)
●県広報課 ☎028-623-2158

「ピピとピコ」作品募集

●とちぎわんぱく公園(壬生町)のキャラクター「ピピとピコ」がわんぱく公園に住むようになるまでの物語を考えてください ●応募資格 アマチュア ●応募区分 親子の部・小学生の部・一般の部 ●作品 400字づつ原稿用紙10枚以内で、自作未発表のもの ●優秀作品には副賞として図書カードを差し上げます ●応募締切 9/10(水)
●県都市整備課 ☎028-623-2474



統計グラフ栃木県コンクール作品募集

●統計グラフ作品をつくり応募ください ●対象 小学生以上の方 ●課題は自由(小学4年生以下は自ら観察・調査した結果をグラフに)
●応募締切 9/5(金)
●県統計課 ☎028-623-2242

明るい選挙啓発ポスターコンクール作品募集

●選挙の大切さを訴えるポスターを募集します ●対象 小・中・高校生 ●応募締切 9/12(金)
●県選挙管理委員会 ☎028-623-2126

つつじが丘ニュータウンエコプレミアムヴィレッジ「友の会」会員募集

●この秋分譲する環境配慮型住宅団地の「友の会」会員を募集します ●会員にはエコ情報を掲載している情報誌を送付します ●随時受付中 ●栃木県住宅供給公社 ☎028-622-0461



県立高等産業技術学校「短期課程」訓練生募集

●県央校(宇都宮市) ☎028-689-6380
●電気施工科 ●対象 離転職者・10名 ●訓練期間 9/17(水)～H21/1/28(水) ●申込期限 8/15(金)
●県北校(那須町) ☎0287-64-5454
●基礎訓練科 ●対象 知的障害者・精神障害者・5名 ●訓練期間 随時(2カ月間)
●県南校(足利市) ☎0284-91-0803
●介護・清掃実務科 ●対象 知的障害者・10名 ●訓練期間 9/9(火)～10/31(金) ●申込期限 8/18(月)

県立衛生福祉大学看護実習指導員募集

●看護学生の病院における臨地実習指導 ●応募資格 看護師の資格を持ち、3年以上業務経験がある方 ●定員 3名 ●申込締切 7/31(木) ●同校 ☎028-645-6710

子育て支援事業(厚生労働省委託事業)の会員を募集しています

●子どもの預かりなど緊急時に子育ての支援を受けたい方(利用会員)と支援を行いたい方(サポート会員)の登録会と研修会を開催します ●7/22・24・25・28・29(登録会)午前10時～正午、(研修会)午前10時～午後3時 ●会場 佐野市城北地区公民館 ●事前に電話で申し込みを ●NPO法人仕事と子育て両立支援センター ☎028-908-7253

「明日は君が守る!」自衛官募集

●募集種目 2等陸・海・空士 ●対象 18～27歳未満の方 ●試験日 [男性]9/16・17・27のいずれか1日、[女性]9/28 ●受付期間 [男性]8/1～9/8、[女性]8/1～9/10
●自衛隊栃木地方協力本部 ☎028-634-3385

催し

“とちぎ発”ストップ温暖化アクションイベント「涼感まつり」

●7/27(日)午前10時30分～午後4時 ●オリオンスクエア(宇都宮市) ●ミニコンサート、県内プロスポーツ選手のトークショー、ゆかたコレクション、エコクイズ、水風船釣り ●ゆかたコレクション参加者を募集中! ●定員 15組 ●申込締切 7/22(火)
●県環境森林政策課 ☎028-623-3187

福祉の就職総合フェア2008 in とちぎ

●8/2(土) ●とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)
①就職支援セミナー ●午前10時～11時30分 ●対象 福祉職を希望する学生 ●事前に申し込みを
②合同面談会 ●午後1時～4時 ●対象 福祉の仕事に就きたい方、学生、学校の進路指導・就職担当者 ●当日直接会場へ
●福祉人材・研修センター ☎028-643-5622

県立衛生福祉大学校見学会

●8/5(火)午後1時30分～3時30分 ●対象 受験希望者 ●申し込みは電話で(高校生は在学する学校へ) ●同校 ☎028-658-8521

なかがわ水遊園の催し

●夏の特別展「おいでよ!アフリカ～乾いた大地と豊かな水に息づく生き物たち～」 ●7/19(土)～8/31(日)
●サマースペシャル情報 ●サマーナイトビュー(8/2・3) ●大池アドベンチャー(夏休み期間毎週日曜) ●まるごと水遊園(水遊園宿泊体験)7/22～23、7/29～30、8/5～6、8/19～20 ●自由研究レスキュー(夏休み期間毎週土曜) ●夕涼みミニナイト(8/13～15)に開園時間を午後8時まで延長
●同園(大田原市) ☎0287-98-3055



障害のある方のための「バスで行くねむの木村ウォーキング」参加者募集

●静岡県掛川市にある福祉の里「ねむの木村」を散策しよう ●対象 身体に障害がある方でひとり歩きのできる方 ●9/8(月)とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)午前6時出発 ●定員 22名 ●参加費 6,000円 ●申込締切 7/25(金) ●申込状況により出発地を他に設けることもできます ●栃木県身体障害者福祉会連合会 ☎028-624-8408 ☎028-624-8418

県立図書館の催し

●子どもの本のついで ●①7/26(土)②8/6(水)午後2時30分～3時 ●絵本の読み聞かせ ●同館 ☎028-622-5112

県畜産試験場ふれ愛デー

●8/2(土)午前9時30分～午後2時 ●試験研究成果の紹介、サイエンスカフェ、ふれあい動物園、県産牛肉・豚肉の試食、農畜産物の販売、堆肥無料配布など ●同試験場(芳賀町) ☎028-677-0302

講座

親子で楽しむ図書館活用講座

●8/9(土)午後1時30分～4時 ●県立図書館(宇都宮市) ●親子で折り本をつくる ●対象 幼児・小学校低学年とその保護者 ●定員 10組 ●申込締切 8/7(木)
●県立図書館 ☎028-622-5113

「これからまちづくり大学」開校

●8/27(水)～H21/1/17(土) ●対象 地域づくりに興味関心があり、これからボランティア活動を始めてみたい方 ●定員 各コース先着30名 ●申込締切 8/8(金) ●県内3会場で実施しますので、希望会場に申し込みを ●宇都宮市民活動サポートセンター(☎028-614-1112) ●日光市民活動支援センター(☎0288-22-2271) ●とちぎ市民活動推進センターくらら(☎0282-20-7131)

海外経済情報セミナー

●7/30(水)午後1時30分～4時30分 ●県庁本館6階会議室1(宇都宮市) ●テーマ「中国の投資環境と知的財産権問題について」 ●対象 県内企業等 ●参加無料 ●定員 先着50名 ●申込締切 7/22(火)
●県国際課 ☎028-623-3165

「起業を体験する。」創業支援講座

●オリジナル携帯ストラップの企画・作成・販売を通じて学ぶ、創業への腕試し ●10/4・11・18、11/1・8(全5回) ●いずれも土曜 午前10時～午後4時30分 ●宇都宮共和大学ほか ●テキスト代 5,000円 ●定員 20名 ●申込締切 9/5(金) ●栃木県産業振興センター ☎028-670-2601

就職カステップアップ講座

●8/18(月)～29(金)午前10時～午後4時 ●(株)ティビシー・スキヤット宇都宮支社 ●コミュニケーション能力やビジネスマナーなどを学びます ●受講無料 ●定員 先着20名 ●ジョブカフェとちぎ(とちぎ就職支援センター) ☎028-623-3226

パルティの講座

●シェイプ護身ピクス ●①9/28(日)午後1時～3時「すぐに役立つ安全安心教室」 ●②10/3・10・17 ●いずれも金曜 午後7時～8時30分「シェイプ護身ピクス」 ●受講料 3,000円(①のみは500円) ●定員 ①50名②30名 ●①のみ託児あり(要予約) ●申込締切 8/26(火)
●とちぎ男女共同参画センター ☎028-665-7706

健康づくり教室

●血管いきいき教室(全6回) ●9/3・10・17、10/1・8・29 ●いずれも水曜 午後1時30分～4時(10/8のみ午前9時30分～正午) ●内臓脂肪を減らすための方法を学びます ●受講料 6,000円(施設利用カードをお持ちの方は5,000円) ●定員 先着20名 ●とちぎ健康づくりセンター ☎028-623-5566

高齢者の雇用・就業のための講習会

●対象 60歳代の求職者 ●受講無料 ●定員 各コース20名(申込多数の場合は抽選)
●ホテルサービススタッフ講習(8日間) ●8/1(金)～12(火) ●宇都宮市 ●建物内装講習(5日間) ●8/21(木)～27(水) ●宇都宮市 ●ホテルサービススタッフ職場体験講習(4日間) ●8/25(月)～28(木) ●宇都宮市 ●栃木県シルバー人材センター連合会 ☎028-627-1179

案内

県立中高一貫教育校説明会

●宇都宮東高校附属中学校(☎028-656-5155) ●8/3(日)①午前10時30分～正午②午後1時30分～3時 ●県教育会館(宇都宮市) ●定員 各回1,200名 ●当日直接会場へ
●佐野高校附属中学校(☎0283-23-0161) ●8/3(日)①午前10時30分～正午②午後1時30分～3時 ●佐野市文化会館 ●定員 各回1,200名 ●当日直接会場へ
※内容(両校とも同じ) 教育内容、学校生活の概要、平成21年度入学選考等について

市町村税徴収強化月間2008夏

●7～8月は市町村税徴収強化月間です ●市町村税を滞納したまま連絡がない方に対して、差押等の処分を強力にすすめていきます ●税金は期限内に納めましょう ●県地方税徴収特別対策室 ☎028-626-3201

指定管理者を募集します

●県の公の施設(栃木県防災館など)を管理する指定管理者を選定するための公募を行います ●施設や公募期間などの情報は、県ホームページ上で順次公表します ●県行政改革推進室 ☎028-623-2225

トマトを栽培している方へ

●トマト黄化葉巻病は、植物のウイルス病で、タバココナジラミにより伝染します ●夏場に栽培する家庭菜園のトマトやミニトマトが伝染源となる恐れがあります ●感染したトマトの抜き取り処分、タバココナジラミの防除、畑の片づけや除草にご協力ください ●県経営技術課 ☎028-623-2286

建設業者、宅地建物取引業者の皆さんへ

●「住宅瑕疵担保履行法」が平成21年10月1日から施行されます。この日以降に引き渡す新築住宅には、瑕疵担保責任の履行のための保険加入が保証金の供託が必要となります ●県住宅課 ☎028-623-2483

「働きやすい職場づくり推進アドバイザー」をご利用ください

●一般事業主行動計画の作り方、育児休業制度の充実などの相談 ●相談無料 ●定員 先着15名 ●対象 従業員300人以下の事業所など ●お近くの県労政事務所または県労働政策課 ☎028-623-3219

栃木県勤労者生活資金のご案内

●対象 勤続年数が1年以上の県内に居住する勤労者 ●融資限度額 100万円(教育費は200万円) ●融資利率 年1.9%(無担保・固定金利、保証料率0.7%または1.2%) ●償還期間 5年以内 ●失業者向けの貸付制度もあります ●お近くの県労政事務所または県労働政策課 ☎028-623-3219

献血にご協力を

●夏は血液が不足しがちです。成分献血と400ml献血にご協力ください ●会場 うつのみや大通り献血ルーム、栃木県赤十字血液センターほか ●県業務課 ☎028-623-3119

農薬危害防止運動の実施

●6～8月は「農薬危害防止運動期間」です ●農薬を使用する場合は農薬容器のラベルをよく読み、注意事項を守りましょう ●県経営技術課 ☎028-623-2286

落し物、あきらめていませんか? 県警ホームページで検索できます

●県警のホームページ(www.pref.tochigi.lg.jp/keisatu/)から落し物の検索ができます ●財布やかばん、傘など、落し物の種類や時期、場所を入力すると落し物リストが表示されますので、ぜひご利用ください ●県警会計課 ☎028-623-3812



吹き竹



～環境保全にと2億円の寄附～

益子町出身で「大塚商会」創業者である大塚実さん(85歳)から、「ふるさと・栃木の環境保全に役立てて欲しい」と2億円の寄附を頂いた。

また、昨年、新県庁舎の完成に合わせて実施した「百年後の“とちぎ”」提言募集での優秀賞の一つに、県内の全ての小・中学校に桜を植樹し、百年後に歴史的な桜の名所にしたいとの提言があった。

御寄附の趣旨にもなっているため、学校の緑化で桜の植樹にも活用させてもらうこととし、「大塚実みどり基金」といった、お名前を冠するような基金を設けるなどして、学校や公共施設の緑化等のために末永く使わせてもらいたい。

御寄附については、ふるさと“とちぎ”の思いからなされたものであり、本年4月からスタートした「ふるさと納税」としてありがたく活用させていただきます。

栃木県知事 福田 富一



高校生からは「高校への空調設備の導入予定は」「ゆとり教育についてどう考えるか」などの質問がありました



「地方の実情を踏まえた、住民にとって実りある改革となるよう意見を述べていく」とあいさつする福田知事

七月五日、帝京大学宇都宮キャンパスで「とちぎ元気フォーラム」を開催しました。これは、学生の皆さんと知事が県の課題などについて話し合うもので、今回は初めて高校生も参加しました。

七月七日、県総合文化センターで「地方分権改革推進大会」を開催されました。これは、自立した地方自治の実現を目指すため、県内の自治体関係者が一致協力することを目的に開かれたもの。大会では、地方分権改革の推進に全力で取り組む決意を表明し、第二期地方分権改革の推進、地方財源の充実などを確認しました。

Topics 1 知事と学生が意見交換

Topics 2 分権改革推進大会を県内で初めて開催

県政トピックス

県の出来事を紹介します



地域の味 ちたより

— 西方町 —
面積 32.00km²
人口 6,785人
(6月1日現在)

西方町は思川の清流と肥沃な大地に恵まれ、イチゴ栽培が盛んな地域。以前から地域の方々からイチゴの加工品づくりに励んでいまして。その中で評判なのが手作りイチゴジュースです。水を一滴も使わずにつくったこのジュースは、西方町のオリジナル品。牛乳、炭酸水、冷水などで割って、イチゴのさわやかな味と香りをお楽しみください。

西方町農産物加工所や町内のスーパーなどでお求めいただけます。

自然とふれよう

なす高原自然の家

◎秋のふれあい広場
9/6(土)～7(日)1泊2日 ●自然体験やキャンプファイヤー、那須どうぶつ王国見学など ●対象 特別支援学校や特別支援学級に在籍する児童生徒とその家族 ●参加費 大人6,800円ほか ●定員 15家族(抽選) ※ボランティアも募集(15名・抽選) ●申込締切 8/6(水)

◎エンジョイネイチャー「山写真のコツ教えます」
9/20(土)～21(日)1泊2日 ●プロカメラマンの講話と実践 ●対象 成人 ●参加費 8,000円(県内在住者) ●定員 20名(抽選) ●申込締切 8/20(水) ●同自然の家(那須町) ☎0287-76-6240

とちぎ海浜自然の家

◎海浜まつり
7/19(土) 午前9時～午後3時 ●地引網体験、模擬店、物産展など ●参加無料 ●当日直接会場へ

◎海浜釣り入門
9/6(土)～7(日)1泊2日 ●投げ釣り入門、砂浜活動、沼釣りなど ●参加費 大人4,510円ほか ●定員 250名 ●同自然の家(茨城県銚田市) ☎0291-37-4004

「森と湖に親しむ旬間」の催し

◎ダム的一般公開
西荒川ダム(塩谷町)7/24(木)
松田川ダム(足利市)7/25(金)
東荒川ダム(塩谷町)7/25(金)
寺山ダム(矢板市)7/30(水)
塩原ダム(那須塩原市)7/31(木)

◎魚のつかみどり
塩原ダム(那須塩原市)7/21(月)

◎松田川ダム(足利市)7/25(金)
◎三河沢ダム(日光市)7/26(土)
◎県砂防水資源課 ☎028-623-2566

日光自然博物館

◎早朝観察会in中禅寺～朝の自然を楽しもう
8/11(月)～8/19(火) 午前6時30分～7時30分 ●毎日開催 ●参加無料 ●定員 20名程度 ●当日、日光自然博物館前集合

◎戦場ヶ原ガイドウォーク
8/2(土)～8/31(日)の毎週土・日、午前10時～11時、午後1時～2時 ●参加料 200円 ●定員 20名程度 ●当日、赤沼自然情報センター前集合

◎戦場ヶ原ナイトハイキング
8/2(土)～8/31(日)の毎週土・日、午後7時45分～9時15分 ●参加料 500円 ●定員 20名程度 ●集合場所: 赤沼自然情報センター前 ●当日午後4時までに電話で申し込みを ●同館 ☎0288-55-0880

文化情報

わくわくグランディ科学ランド
(県子ども総合科学館)
宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555
●月・第4木曜日(祝日の場合は翌日)

◎開館20周年記念 夏の企画展「わくわくスタジアム大運動会～スポーツの科学展」
7/19(土)～8/31(日) ●今年は、北京オリンピック開催年。スポーツを技、道具、体などの視点から科学的に解明。体を動かしながら楽しく学んでみよう ●展示場観覧料が必要です

◎おしごとラボ2008
7/19(土)～8/31(日) 午前9時30分～11時30分(受付午前11時まで)、午後1時15分～午後3時30分(受付午後3時まで) ●「動く」をテーマにあそぶプログラムです。「おしごと」をして、買い物をしたり、自分のお店をだしたりすることもできます ●展示場観覧料が必要です

文化情報

県立美術館
宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566
●月曜日(祝日の場合は翌日)

◎企画展「長重之展く時空のパスセージ」
～足利の来し方、世界の行く末」7/13(日)～9/15(月・祝) ●長い歴史を誇る文化都市足利を拠点に、自己と歴史、自己と世界との境界領域を追求し、絵画、彫刻、空間造形など多彩な表現で作品を制作し続けている現代美術家、長重之の全貌を、1960年代の代表作から2008年の最新作まで約100点で紹介する展覧会です ●※8月までの企画展開催日のうち、金・土曜は午後7時まで閉館時間を延長します

「ポケット・ナツNo.1」1967年、キャンバス、油彩

文化情報

県立博物館
宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1311
●月曜日(祝日の場合は翌日)

◎7/19(土)から企画展開幕
①「予は下野の百姓なり～新聞でみる、民衆政治家田中正造～」 ●オープニング講座「予は下野の百姓なり～新聞でみる、民衆政治家田中正造～」 ●7/19(土)午後1時30分～(電話で申し込みを)
②「高原山の自然」 ●講座「高原山の自然を語る①」7/20(日)午後1時30分～ ●講座「高原山の自然を語る②」8/3(日)午後1時30分～(当日会場申し込みを)

高原山の自然

文化情報

県総合文化センター
宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1013
●月曜日(祝日の場合は翌日)

◎世界のアーティストが集う「愛と青春のヒット・ソングス」～シャノン・カンツォーネ・ファド・ボサノヴァ・島唄～
7/23(水) 午後6時30分開演 ●S席6,000円、A席4,500円 ●曲目: 枯葉、フニクリ・フリクラ、島唄ほか ●中村JAPANドラマティックカンパニー「マッスルビック～筋肉の祭典」 ●8/23(土) 午後6時開演 ●S席6,500円、A席5,000円 ●赤ちゃんへ、子どもたちへ、はじめてのクラシック ●10/19(日) 午前11時開演(0～2才向)、午後2時開演(3才以上向) ●自由席大人1,500円、0才～小学生500円 ●7/16(水) 発売開始

ご意見募集!

「とちぎ県民だより」へのご感想をお寄せください。ご意見をいただいた方の中から抽選で5名の方に**県立美術館企画展観賞チケットをペア**で差し上げます。はがきに、住所・氏名・年齢・ご意見を記入の上、次のあて先までお送りください。なお、今月号の締切は7/31(木)(必着)とさせていただきます。

〒320-8501 県広報課「とちぎ県民だより」係

栃木県本庁舎からのお知らせ

◎マロニエ県庁コンサート
7/30(水) 午後0時10分～50分 ●会場 本館1階県民ロビー ●出演者 トリオ・ラ・プラーシュ(ピアノ、ヴァイオリン、クラリネットによる演奏)

◎けんちょうde愛ふれあい直売所
7/18(金) 午前10時～午後3時 ●会場 本館1階県民ロビー、昭和館前庭 ●テーマ「高原の風」

◎閉館日
害虫防除作業および清掃作業のため、7/19(土)・8/9(土)は閉館します。このため、展示コーナーや展望レストランもお休みとなります。

information とちぎテレビ

県の広報番組

クローズアップとちぎ ●毎週日曜日 9:00～9:30
7/20は8:05～

7月20日 とちぎの技術ブランド
フロンティア企業

27日 栃木県元気な農業コンクール

8月 3日 賢く使い分けよう
マイカーと公共交通機関

10日 応援します!次代を担う農業青年たち

こちら とちぎ調査隊! ●毎週土曜日 9:00～9:30
7/19・26は8:05～

7月19日 8020ずつと自分の歯でいよう～歯の健康
26日 つくろ!ヘルシーとちぎ～とちぎ健康21プラン～

8月 2日 自分らしく生きる～男女共同参画社会～

9日 奥日光の自然

県政ひとくちメモ ●毎週木曜日16:20頃

7月17日 なかがわ水遊園特別展

24日 若者ジョブチャレンジクラブ

31日 建築物耐震改修

8月 7日 食品表示適正強化月間

14日 きのご料理コンクール